

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 互惠会

特別養護老人ホーム サライ
デイサービスセンター サライ

概況

1. 法人役員の選任解任動向

- ① 理事 … 理事6名のうち6名が6月に任期満了。5名が重任、1名が新任で改選。
- ② 監事 … 監事2名のうち2名が6月に任期満了。2名とも重任で改選。
- ③ 評議員 … 変更なし。
- ④ 顧問 … 6月に退任した理事1名が顧問に就任。

2. 稼働率（資料「稼働率」参照）

① 稼働率実績

	実績	目標	目標比	前期比	前期実績
入所	94.3%	96.5%	△2.2%	△0.9%	95.2%
短期入所	106.8%	99.0%	+7.8%	+2.5%	104.3%
計	96.8%	97.0%	△0.2%	△0.2%	97.0%
通所	44.6%	50.0%	△5.4%	+8.0%	36.6%

・ 入所

年間の目標稼働率を2.2%下回り、前期比においても0.9%下回った稼働率となったが、医療機関への入院者数などを考慮すると1年通して高い稼働率で推移したといえる。入所者の医療機関入院の延人数は年間で1,592人で前期よりも324人増加。1日あたり平均4.34人が入院し空床となっている。入院した入所者が入院していないと仮定した場合の年間稼働率は99.8%。入院以外で空床となっている延べ日数は年間で56日。入所者が退所してから次の入所者が入所するまでの平均空床日数は1.86日で、空床期間の最長は15日、最短は0日で次の入所者が入所している。前年度に引き続き、退所が確定する前にあらかじめ次の入所者を選考するなどの施策を継続して行っていることが空床期間の減少に繋がっている。

・ 短期入所

年間の目標稼働率を7.8%上回り、前期比においても2.5%上回る稼働率を達成し、今期も1年間通して高い稼働率で推移した。1年間全ての月で目標稼働率を超える稼働率の達成と、100%を超える稼働率を達成した。前期よりも特養入所者の入院者が多い中、その入院により空床となった部屋を効率的に短期入所の利用者に利用したことが、年間を通して安定した高い稼働率で推移できた要因といえる。比較的利用日数が長い利用者とのスケジュール調整を適切に行い、空床が出来ないようなスケジュール管理を継続したことが高稼働率達成に繋がった。

・ 通所

1日あたりの平均利用者数は13.51人で前期の平均利用者数よりも2.53人の増加。年間の目標稼働率より5.4%下回る稼働率であったが、前年度の稼働率よりは年間で8.0%上回る稼働率。月間の平均利用者数が最も少ない月で4月の12.24人。最も多い月は1月の14.41人となっており、年度内12月まではほぼ横這いでの推移であったが、1月からの後半3ヶ月は平均14人台と年度後半に向け若干ながら上昇しており、来年度への期待が持てる流れになっている。利用契約者数は年間平均51人となっており、前期よりも11人増加しているため、1人あたりの利用回数の増回を図り稼働率の上昇へと繋げるとともに、1日あたりの利用欠席者が平均3.92人いるため、この欠席者を減少させることも稼働率を上昇へと導く上での課題となっている。

3. 収益状況

① 資金収支

当期資金収支差額 △91,192千円（前年度比 △83,610千円）
事業活動資金収支差額 23,516千円（前年度比 +13,009千円）
施設整備等資金収支差額 △23,683千円（前年度比 +18,139千円）
その他の活動資金収支差額 △91,025千円（前年度比 △114,758千円）

「事業活動による収支」における収入は608,903千円で前期比+11,772千円、支出は585,387千円で前期比△1,235千円。事業活動資金収支差額は+23,515千円で前期比+13,008千円となり、前期よりも「事業活動における収支」は大幅に改善されている。支出における主な科目の前期比は、「人件費支出」が△2,472千円、「事業費支出」が△3,413千円、「事務費支出」が+5,937千円となっている。「施設整備等による収支」における収入は0千円、支出は23,683千円で前期比△18,139千円となっているが、全金融機関の借入金返済において令和5年9月より元本据置を実施しているため、前期と比較して大幅に支出が少なくなっている。また、その支出のうち「ファイナンス・リース債務の返済支出」は、前期比+2,830千円となっており、融資における資金調達が不調だったため、リースにて設備資金を賅ったといえる。「その他の活動による収支」における収入は0千円で前期比△112,000千円、支出は91,025千円で前期比+2,319千円となっている。支出91,025千円のうち70,000千円は商工中金からの既存の融資を長期借入金から短期借入金にして借換をしたため、その点を考慮すると実際は前期比△67,681千円となっている。運転資金としての借入金においても、令和5年9月から元本据置を行っているため前期と比較して大幅な支出の減少となっている。「当期資金収支差額」は△91,192千円で前期比は△83,610千円であるが、商工中金から70,000千円を短期にて借入を行っていること、株式会社アレンジメントから110,800千円をファクタリングにて資金調達を行っていることなどを考慮すると、実際の現預金残高はプラス計上となる。今期の資金収支残高については、短期的な資金調達と返済の元本据置によって資金を賅ったため、結果的に大幅なマイナス計上となっている。

② 事業活動収支

サービス活動収益（売上高） 607,475千円（前年度比 +11,964千円）
サービス活動増減差額（営業利益） 5,802千円（前年度比 +12,822千円）
経常増減差額（経常利益） △5,171千円（前年度比 +13,835千円）
当期活動増減差額（当期純利益） △5,171千円（前年度比 +13,835千円）

「サービス活動増減の部」における収益は607,475千円で前期比+11,964千円。費用は601,672千円で前期比△858千円。「サービス活動増減差額」は5,802千円で前期比+12,822千円となっており、前期と比較して収益増加と費用削減がなされている。「サービス活動外増減の部」の費用においては、「支払利息」が11,021千円で前期比△1,018千円。「経常増減差額」は△5,171千円で前期比+13,835千円となっており、前期よりも大幅に改善されている。「特別増減の部」は収益と費用どちらも計上がなく、「当期活動増減差額」は△5,171千円で前期比+13,835千円となっている。「サービス活動増減の部」における収益のうち6,566千円は、令和4年度のコロナ関連の助成金のうち支給が未確定であったものが今期に収益計上されたもので、これを収益から除くと「当期活動増減差額」は△11,737千円となる。逆に、費用計上においても、金融機関からの資金調達が不調だったことの影響で、今期の当初予算においては計上する予定がなかった「支払手数料」が幾つか計上されている。一つ目は、令和4年度に計上した静岡銀行による動産担保設定手数料2,200千円を期間按分にて5年間で費用計上する予定が、9月に当座貸越の契約を解約したため、今期に1,501千円が費用計上されたこと、二つ目は、株式会社アレンジメントとのファクタリング契約へ切替えたことにより、設定事務手数料3,656千円と毎月の割引料が年合計5,636千円が計上されたことである。結果として、当初予定されていなかった「支払手数料」が年合計10,793千円費用計上されることになり、収益と費用においてこれらの点を考慮すると、今期の「当期活動増減差額」は△944千円となり、ここ数年続いた「当期活動増減差額」の大幅なマイナス計上からは脱しつつあるとの見方ができる。

③ 借入金

金融機関等からの運転資金の借入金期末残高（短期借入含む） 263,209千円 （前年度末比 △15,191千円）
設備資金の借入金期末残高 354,369千円 （前年度末比 △17,767千円）
役員など個人からの借入金期末残高 10,000千円 （前年度末比 +10,000千円）
当座貸越借入金期末残高 0千円 （前年度末比 △35,000千円）※令和5年9月に解約

今期運転資金として新規で借入をした長期借入金は0千円。短期借入金は商工中金の70,000千円（長期借入金70,000千円の借換え）、きらぼし銀行の賞与資金の35,000千円、役員個人からの10,000千円で合計115,000千円。長期借入金による資金調達が不調に終わったため、全金融機関へ令和5年9月から返済金額の元本据置を依頼し実施された。その結果、運転資金(コロナ関連融資を含む)借入金の年間返済額は15,191千円。設備資金借入金の返済は17,767千円。短期借入金は、きらぼし銀行の賞与資金が29,166千円の返済となっている。静岡銀行の当座貸越は、株式会社アレンジメントによるファクタリングへ切替をしたため、令和5年9月にて解約することになり残高70,000千円の全額を返済した。株式会社アレンジメントからのファクタリングによる資金調達は110,800千円となっており、期末時点においても同額が「前受金」に残高として計上されている。

4. 今年度の総括、取組み

① 職員の状況

- ・入職者15名。離職者16名。期末時点在籍者77名（非常勤8名含む）
 - 特養介護職の常勤率96.2%、介護福祉士率83.0%
- ・職員の平均年齢51.8歳。職員高齢化による職員体制の偏りが問題

③ 職場環境の改善 = 働きやすい職場づくり 継続中

- ・スキルアップシートによる職員個人の目標設定と目標の明確化
- ・定期昇給の継続実施（昇給額4,000円を基準）
- ・処遇改善支援事業交付金、介護職員等ベースアップ等支援加算による処遇改善策の実施
- ・賞与支給率の確保 前年度 3.9ヶ月 → 今年度 も同率
- ・定時退勤の奨励と有給休暇完全取得への働きかけ → プライベート時間の充実のために

④ 感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染症による感染症対策の緩和（コロナ前の日常生活への回帰に向けて）
 - 家族等の面会を居室による対面面会の再開
 - 入所者の家族との外出機会の再開
 - ボランティアの受入再開
 - 感染対策を行いつつ施設内勉強会の実施。オンラインによる外部研修などへの参加。
- ・令和6年1月から2月にかけてノロウイルス感染者が多数発生。
 - コロナ以外の感染症への対応を軽視しないことの重要性

⑤ 看取り介護の開始

- ・令和5年10月より看取り介護を実施
 - 2年6ヶ月の準備期間を経て実施できる体制を構築
 - 令和6年1月に1人目の看取り対象となる入所者の受入れ

⑥ デイサービスの強化 継続中

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により稼働率が低迷。年間通しての稼働率回復とはならなかった。
 - 職員が定着しており、安定したサービスの提供と事業所内の雰囲気は良好。
 - 外部関係先からの評判も良く、新規問い合わせは増加している。
 - 医務室との連携強化により、医療的処置が必要な利用者も積極的に受入れ。
 - 既利用者の利用日数増回の積極的な提案と欠席者を減少させる施策の検討

⑦ 部署間、職種間の垣根を超えた協力体制、部署内における協力体制の構築 継続中

- ・介護職と看護職の連携、協力体制の強化
- ・ユニットやフロアに捉われず介護部門全体で協力できる体制の構築
- ・各専門職同士間における情報の共有。不在時でも誰でも対応できるような体制へ。

⑧ 地域貢献の推進及び社会的弱者への貢献活動

- ・地域貢献・・・新型コロナウイルス感染症により今期も外部との接触機会激減から徐々に再開。
- ・就労支援事業の受託
 - 相模台クリニック（アンダンテ）・・・精神障害者の就労支援への協力 継続
- ・障害者雇用・・・障害者雇用の継続（1名継続就労中（4年6ヶ月在籍））
- ・実習生の受入・・・新型コロナウイルス感染症による受入見合わせから再開へ
- ・高齢者の就労機会の創出・・・定年退職職員の再雇用と70歳以上職員の採用（嘱託職員として3名在籍）
- ・施設内敷地の有効活用・・・太陽光発電を本棟屋上に提供 平成26年度より継続（町田ガス）

1. 稼働率

【入所】

令和5年度

年月	目標			実績					目標比			達成率
	計	入所	短期入所	計		入所		短期入所	計	入所	短期入所	
	100名	80名	20名	(含入院)		(含入院)						
令和5年4月	97.0%	96.5%	99.0%	100.9%	97.9%	100.0%	96.2%	104.8%	+0.9%	-0.3%	+5.8%	100.9%
5月	97.0%	96.5%	99.0%	101.8%	97.0%	100.0%	94.0%	109.1%	±0.0%	-2.5%	+10.1%	100.0%
6月	97.0%	96.5%	99.0%	101.6%	96.6%	99.6%	93.4%	109.5%	-0.4%	-3.1%	+10.5%	99.6%
7月	97.0%	96.5%	99.0%	100.7%	96.2%	99.8%	94.1%	104.5%	-0.8%	-2.4%	+5.5%	99.2%
8月	97.0%	96.5%	99.0%	103.1%	97.4%	99.9%	92.8%	115.8%	+0.4%	-3.7%	+16.8%	100.4%
9月	97.0%	96.5%	99.0%	100.1%	97.0%	99.5%	95.6%	102.6%	±0.0%	-0.9%	+3.6%	100.0%
10月	97.0%	96.5%	99.0%	100.4%	97.7%	99.3%	96.0%	104.6%	+0.7%	-0.5%	+5.6%	100.7%
11月	97.0%	96.5%	99.0%	100.5%	96.9%	100.0%	95.5%	102.5%	-0.1%	-1.0%	+3.5%	99.9%
12月	97.0%	96.5%	99.0%	101.4%	98.4%	99.8%	96.1%	107.9%	+1.4%	-0.4%	+8.9%	101.4%
令和6年1月	97.0%	96.5%	99.0%	100.0%	93.2%	99.8%	91.3%	101.1%	-3.8%	-5.2%	+2.1%	96.1%
2月	97.0%	96.5%	99.0%	101.4%	95.4%	99.7%	92.3%	108.1%	-1.6%	-4.2%	+9.1%	98.4%
3月	97.0%	96.5%	99.0%	102.2%	98.0%	99.9%	94.6%	111.4%	+1.0%	-1.9%	+12.4%	101.0%
年合計												
年平均	97.0%	96.5%	99.0%	101.2%	96.8%	99.8%	94.3%	106.8%	-0.2%	-2.2%	+7.8%	99.8%

【通所】

令和5年度

年月	目標				実績				目標比			達成率(%)	営業日数	
	30名定員稼働率(%)	計	通所介護利用者数	介護予防契約者数	30名定員稼働率(%)	計	通所介護利用者数	介護予防契約者数	通所介護契約者数	計	通所介護利用者数			介護予防契約者数
令和5年4月	35.0%	262人	260人	2人	39.3%	295人	293人	2人	44人	+33人	+33人	±0人	112.6%	25日
5月	40.0%	324人	322人	2人	43.8%	355人	354人	1人	47人	+31人	+32人	-1人	109.6%	27日
6月	42.0%	329人	327人	2人	46.7%	365人	364人	1人	48人	+36人	+37人	-1人	110.9%	26日
7月	45.0%	351人	349人	2人	45.7%	357人	356人	1人	46人	+6人	+7人	-1人	101.7%	26日
8月	50.0%	405人	403人	2人	43.0%	349人	348人	1人	44人	-56人	-55人	-1人	86.2%	27日
9月	52.0%	407人	405人	2人	43.2%	337人	336人	1人	47人	-70人	-69人	-1人	82.8%	26日
10月	54.0%	422人	419人	3人	42.1%	329人	328人	1人	47人	-93人	-91人	-2人	78.0%	26日
11月	54.0%	422人	419人	3人	44.4%	347人	345人	2人	51人	-75人	-74人	-1人	82.2%	26日
12月	56.0%	422人	419人	3人	44.1%	331人	329人	2人	50人	-91人	-90人	-1人	78.4%	25日
令和6年1月	56.0%	404人	401人	3人	48.0%	346人	346人	0人	59人	-58人	-55人	-3人	85.6%	24日
2月	58.0%	435人	432人	3人	47.3%	355人	355人	0人	57人	-80人	-77人	-3人	81.6%	25日
3月	58.0%	452人	449人	3人	46.7%	365人	365人	0人	54人	-87人	-84人	-3人	80.8%	26日
年合計	50.0%	4635人	4605人	30人	44.6%	4131人	4119人	12人	594人	-504人	-486人	-18人	89.1%	309日
年平均	50.0%	387人	384人	3人	44.5%	344人	343人	1人	50人	-42人	-41人	-2人	90.9%	

目標年平均稼働率= 50.0%

2. 特別養護老人ホームサライの状況

① 入退所者の状況

入所

No.	氏名	性別	年齢	入所年月日	介護度	保険者
1	W 様	女性	98歳	R5. 4. 25	要介護3	座間市
2	T 様	男性	87歳	R5. 4. 29	要介護4	海老名市
3	S 様	男性	93歳	R5. 5. 23	要介護4	座間市
4	K 様	女性	81歳	R5. 6. 6	要介護4	座間市
5	T 様	女性	82歳	R5. 6. 7	要介護5	座間市
6	I 様	女性	83歳	R5. 6. 23	要介護3	座間市
7	S 様	女性	91歳	R5. 6. 26	要介護5	座間市
8	Y 様	女性	90歳	R5. 6. 28	要介護4	座間市
9	T 様	女性	86歳	R5. 7. 5	要介護5	相模原市
10	I 様	女性	84歳	R5. 7. 20	要介護5	相模原市
11	I 様	女性	85歳	R5. 8. 9	要介護4	綾瀬市
12	K 様	女性	93歳	R5. 8. 25	要介護4	座間市
13	N 様	女性	83歳	R5. 8. 25	要介護4	座間市
14	S 様	女性	91歳	R5. 8. 25	要介護5	座間市
15	K 様	女性	95歳	R5. 9. 12	要介護5	座間市
16	O 様	女性	93歳	R5. 9. 22	要介護3	座間市
17	M 様	女性	96歳	R5. 9. 26	要介護4	座間市
18	T 様	男性	89歳	R5. 9. 27	要介護4	座間市
19	I 様	女性	95歳	R5. 10. 11	要介護3	座間市
20	I 様	女性	91歳	R5. 10. 16	要介護5	座間市
21	O 様	女性	82歳	R5. 11. 14	要介護4	大和市
22	H 様	女性	86歳	R5. 12. 6	要介護5	座間市
23	K 様	男性	86歳	R5. 12. 6	要介護4	座間市
24	T 様	男性	97歳	R6. 1. 24	要介護4	大和市
25	W 様	男性	94歳	R6. 2. 7	要介護4	相模原市
26	F 様	女性	86歳	R6. 3. 13	要介護3	座間市
27	T 様	女性	86歳	R6. 3. 18	要介護4	座間市
28	T 様	女性	88歳	R6. 3. 19	要介護4	座間市
29	N 様	男性	92歳	R6. 3. 25	要介護4	大和市
30	T 様	女性	97歳	R6. 3. 26	要介護3	座間市

入所者数 30名 (男性7名 女性23名 平均年齢 89.33歳 平均要介護度 4.06 座間市比率 73.3%)

(R4年度27名 R3年度29名 R2年度23名 R元年度22名 H30年度20名 H29年度22名 H28年度16名 H27年度23名)

退所

No.	氏名	性別	年齢	入所年月日	退所年月日	在所日数	退所理由
1	A 様	女性	96歳	R4. 9. 6	R5. 4. 24	231日	在宅復帰
2	S 様	女性	97歳	R3. 7. 27	R5. 4. 28	641日	入院先にて死亡のため
3	K 様	男性	77歳	R4. 5. 23	R5. 5. 22	365日	入院のため
4	O 様	男性	89歳	R5. 2. 21	R5. 6. 5	105日	入院先にて死亡のため
5	O 様	女性	94歳	R3. 9. 7	R5. 6. 6	638日	入院のため
6	K 様	女性	81歳	H29. 6. 7	R5. 6. 14	2, 199日	入院のため
7	T 様	女性	84歳	R2. 2. 19	R5. 6. 25	1, 223日	入院のため
8	D 様	女性	85歳	R4. 12. 13	R5. 6. 26	196日	入院先にて死亡のため
9	Y 様	女性	100歳	R3. 5. 23	R5. 6. 30	769日	入院先にて死亡のため
10	S 様	男性	76歳	R4. 2. 21	R5. 7. 19	514日	入院のため
11	A 様	女性	88歳	R4. 2. 1	R5. 8. 8	554日	入院のため
12	O 様	女性	88歳	R3. 12. 25	R5. 8. 23	607日	死亡のため
13	M 様	女性	86歳	R2. 5. 25	R5. 8. 24	1, 187日	入院のため
14	T 様	男性	94歳	R4. 4. 28	R5. 8. 24	484日	入院のため
15	W 様	女性	98歳	H30. 12. 12	R5. 9. 11	1, 735日	入院のため
16	K 様	女性	87歳	R5. 3. 25	R5. 9. 20	180日	入院のため
17	S 様	女性	91歳	R5. 6. 26	R5. 9. 21	88日	入院先にて死亡のため
18	N 様	女性	94歳	H28. 3. 22	R5. 9. 25	2, 744日	入院先にて死亡のため
19	I 様	女性	84歳	R5. 7. 20	R5. 9. 25	68日	入院先にて死亡のため
20	D 様	女性	95歳	R5. 1. 4	R5. 10. 9	279日	入院先にて死亡のため
21	A 様	女性	85歳	H31. 4. 1	R5. 11. 13	1, 688日	入院のため
22	Y 様	男性	83歳	R4. 11. 28	R5. 12. 1	369日	入院先にて死亡のため
23	S 様	女性	104歳	R2. 10. 29	R5. 12. 5	1, 133日	入院のため
24	S 様	女性	92歳	R5. 8. 25	R6. 1. 21	150日	入院先にて死亡のため
25	S 様	女性	95歳	R2. 8. 1	R6. 1. 29	1, 277日	入院先にて死亡のため
26	T 様	男性	90歳	R5. 9. 27	R6. 3. 12	168日	入院のため
27	K 様	男性	86歳	R5. 12. 6	R6. 3. 16	102日	入院先にて死亡のため
28	M 様	男性	88歳	R5. 2. 17	R6. 3. 18	396日	入院のため
29	K 様	女性	93歳	R4. 9. 14	R6. 3. 24	558日	入院のため
30	W 様	女性	92歳	R2. 3. 31	R6. 3. 25	1, 456日	入院のため

退所者数 30名 (男性 8名 女性 22名 平均年齢 89.73歳 平均在所日数 736.80日)

(R4年度26名 R3年度30名 R2年度23名 R元年度20名 H30年度22名 H29年度19名 H28年度18名 H27年度18名)

② 要介護度別状況

入所 (令和5年度 年間入所者実数)

特養 入所者実数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	0人	0人	3人	11人	6人	20人	4.15
女性	0人	5人	35人	28人	22人	90人	3.74
計	0人	5人	38人	39人	28人	110人	3.82

(平均要介護度: R4年度3.89 R3年度3.87 R2年度3.93 R元年度3.99 H30年度3.96 H29年度3.93 H28年度3.87 H27年度3.86 H26年度4.00 H25年度4.26 H24年度4.08)

要介護度4・5比率 = 60.9% (R4年度64.2% R3年度66.1% R2年度63.7% R元年度71.0% H30年度66.7% H29年度68.8% H28年度64.9% H27年度62.0% H26年度69.3% H25年度83.0%)

入所 (令和5年度 年間入所者延数)

特養 入所者延数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	0人	0人	915人	1,613人	1,599人	4,127人	4.17
女性	0人	1,068人	9,937人	7,472人	5,028人	23,505人	3.70
計	0人	1,068人	10,852人	9,085人	6,627人	27,632人	3.77

(平均要介護度: R4年度3.79 R3年度3.78 R2年度3.87 R元年度3.90)

要介護度4・5比率 = 56.9% (R4年度60.0% R3年度60.1% R2年度63.7% R元年度65.7%)

短期入所 (令和5年度 年間利用者実数)

短期入所 利用者実数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	1人	0人	2人	5人	9人	19人	6人	42人	3.45
女性	0人	2人	7人	11人	22人	23人	16人	81人	3.30
計	1人	2人	9人	16人	31人	42人	22人	123人	3.35

(平均要介護度: R4年度3.51 R3年度3.67 R2年度3.48 R元年度3.26)

要介護度4・5比率 = 52.0% (R4年度58.2% R3年度56.7% R2年度55.8% R元年度43.7%)

短期入所 (令和5年度 年間利用者延数)

短期入所 利用者延数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	3人	0人	97人	44人	423人	1,292人	324人	2,183人	3.78
女性	0人	20人	147人	428人	1,532人	2,335人	1,178人	5,640人	3.69
計	3人	20人	244人	472人	1,955人	3,627人	1,502人	7,823人	3.72

(平均要介護度: R4年度3.72 R3年度3.86 R2年度3.62 R元年度3.30)

要介護度4・5比率 = 65.6% (R4年度60.3% R3年度64.5% R2年度53.6% R元年度35.2%)

通所 (令和5年度 年間利用者実数)

通所 利用者実数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	8人	7人	5人	6人	1人	27人	2.44
女性	6人	15人	14人	10人	5人	50人	2.86
計	14人	22人	19人	16人	6人	77人	2.71

(平均要介護度: R4年度2.89 R3年度3.03 R2年度2.84 R元年度2.46)

要介護度4・5比率 = 28.6% (R4年度31.7% R3年度41.3% R2年度31.1% R元年度21.6%)

通所 (令和5年度 年間利用者延数)

通所 利用者延数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	351人	509人	230人	237人	67人	1,394人	2.40
女性	367人	1,239人	430人	522人	167人	2,725人	2.59
計	718人	1,748人	660人	759人	234人	4,119人	2.52

(平均要介護度: R4年度2.73 R3年度2.69 R2年度2.58 R元年度2.42)

要介護度4・5比率 = 24.1% (R4年度26.6% R3年度27.6% R2年度20.7% R元年度14.8%)

第一号通所事業 (令和5年度 年間利用者実数)

第一号通所事業 利用者実数	要支援 1	要支援 2	計	平均 要支援度
男性	1人	0人	1人	1.00
女性	1人	1人	2人	1.50
計	2人	1人	3人	1.33

(平均要支援度: R4年度1.75 R3年度1.75 R2年度2.00 R元年度1.80)

第一号通所事業 (令和5年度 年間利用者延数)

第一号通所事業 利用者延数	要支援 1	要支援 2	計	平均 要支援度
男性	9人	0人	9人	1.00
女性	38人	9人	47人	1.19
計	47人	9人	56人	1.16

(平均要支援度: R4年度1.98 R3年度1.97 R2年度1.97 R元年度1.92)

③ 保険者別人員状況

入所 (令和5年度 年間入所者実数)

特養 入所者実数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	横浜市	県外	計
男性	14人	1人	3人	1人	0人	0人	1人	20人
女性	72人	1人	10人	4人	1人	0人	2人	90人
計	86人	2人	13人	5人	1人	0人	3人	110人

座間市比率 = 78.2%

(4年度81.1% 3年度79.8% 2年度81.6% 元年度79.0% 30年度78.2% 29年度76.3%

28年度76.6% 27年度70.9% 26年度64.0% 25年度59.6% 24年度72.5%)

入所 (令和5年度 年間入所者延数)

特養 入所者延数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	横浜市	県外	計
男性	3,359人	338人	40人	54人	0人	0人	336人	4,127人
女性	18,709人	366人	2,785人	993人	236人	0人	416人	23,505人
計	22,068人	704人	2,825人	1,047人	236人	0人	752人	27,632人

座間市比率 = 79.9% (令和4年度 80.7% 令和3年度 81.1% 令和2年度 82.1% 令和元年度 83.7%)

短期入所 (令和5年度 年間利用者実数)

短期入所 利用者実数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	その他県内	県外	計
男性	34人	1人	4人	2人	1人	0人	0人	42人
女性	70人	0人	3人	6人	1人	0人	1人	81人
計	104人	1人	7人	8人	2人	0人	1人	123人

座間市比率 = 84.6% (令和4年度 85.5% 令和3年度 84.4% 令和2年度 80.2% 令和元年度 85.4%)

短期入所 (令和5年度 年間利用者延数)

短期入所 利用者延数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	その他県内	県外	計
男性	1,634人	28人	352人	155人	14人	0人	0人	2,183人
女性	5,004人	0人	267人	200人	130人	0人	39人	5,640人
計	6,638人	28人	619人	355人	144人	0人	39人	7,823人

座間市比率 = 84.9% (令和4年度 77.4% 令和3年度 83.0% 令和2年度 78.6% 令和元年度 81.7%)

通所、第一号通所事業 (令和5年度 年間利用者実数)

利用者実数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	横浜市	県外	計
男性	27人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	28人
女性	48人	0人	1人	1人	0人	1人	1人	52人
計	75人	0人	1人	2人	0人	1人	1人	80人

座間市比率 = 93.8% (令和4年度 88.1% 令和3年度 88.1% 令和2年度 87.7% 令和元年度 83.5%)

通所、第一号通所事業 (令和5年度 年間利用者延数)

利用者延数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	横浜市	県外	計
男性	1,373人	0人	0人	30人	0人	0人	0人	1,403人
女性	2,589人	0人	29人	35人	0人	49人	70人	2,772人
計	3,962人	0人	29人	65人	0人	49人	70人	4,175人

座間市比率 = 94.9% (令和4年度 90.17% 令和3年度 90.7% 令和2年度 91.0% 令和元年度 85.9%)

④ 居住費・食費 利用者負担区分状況 (令和5年度年間)

(実人数)	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	計	第4段階比率
入 所	0人	12人	17人	30人	51人	110人	46.4%
短期入所	0人	3人	5人	11人	104人	123人	84.6%
計	0人	15人	22人	41人	155人	233人	66.5%

(入 所 第4段階比率 : 令和4年度 41.5% 令和3年度 45.5% 令和2年度 40.8% 令和元年度 37.0%)
 (短期入所 第4段階比率 : 令和4年度 62.7% 令和3年度 62.2% 令和2年度 58.1% 令和元年度 61.2%)

(延人数)	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	計	第4段階比率
入 所	0人	3,336人	5,383人	7,105人	11,808人	27,632人	42.7%
短期入所	0人	195人	605人	2,091人	4,932人	7,823人	63.0%
計	0人	3,531人	5,988人	9,196人	16,740人	35,455人	47.2%

(入 所 第4段階比率 : 令和4年度 38.8% 令和3年度 41.8% 令和2年度 39.0% 令和元年度 37.5%)
 (短期入所 第4段階比率 : 令和4年度 61.1% 令和3年度 57.8% 令和2年度 50.1% 令和元年度 50.4%)

3. 職員の状況

①部門別人員（令和6年3月31日現在）

	常勤	非常勤 嘱託(非常勤)	嘱託(常勤)	計	休職(欠勤)	短時間勤務	非常勤 (常勤換算)	(常勤換算) 計	前期末比	男	女
介護部門	52	2	0	54			1.20	53.20	+1.00	21	33
看護部門	4	2	0	6		-0.4	0.80	5.40	-0.60	0	6
相談支援部門	4	0	0	4				4.00	±0.00	2	2
事務部門	2	2	1	5		-0.4	0.58	4.18	-1.19	1	4
特養 計	62	6	1	69	0.0	-0.8	2.58	66.78	-0.79	24	45
デイサービス部門	5	2	0	7			1.00	6.00	+0.30	2	5
職員 計	67	8	1	76	0.0	-0.8	3.58	72.78	-0.49	26	50
施設長	1			1				1.00	±0.00	1	0
計	68	8	1	77	0.0	-0.8	3.58	73.78	-0.49	27	50

②資格別人員（令和6年3月31日現在）

<介護部門>

	常勤	非常勤 嘱託(非常勤)	嘱託(常勤)	計	休職(欠勤)	短時間勤務	(常勤換算)	(常勤換算) 計	前期末比
介護福祉士	44	0	0	44				44.0	-1.0
介護福祉士実務者研修修了者	3	0	0	3				3.0	+1.0
介護職員初任者研修修了者	2	0	0	2				2.0	-1.0
計	49	0	0	49	0	0.0	0.0	49.0	-1.0
資格なし	2	2	0	4			1.2	3.2	+1.0
合計	51	2	0	53	0	0.0	1.2	52.2	±0.0
介護支援専門員	2	0	0	2				2.0	±0.0
社会福祉主事任用資格	1	0	0	1				1.0	±0.0

介護福祉士率 83.0% (R4年度84.9%、R3年度77.4%、R2年度79.3%、R1年度82.8%、H30年度74.4%、H29年度65.8%、H28年度67.3%、H27年度66.1%、H26年度62.2%)

常勤率 96.2% (R4年度96.2%、R3年度93.5%、R2年度91.4%、R1年度96.6%、H30年度98.0%、H29年度96.2%、H28年度96.2%、H27年度90.9%、H26年度91.1%)

<介護部門以外>

	常勤	非常勤 嘱託(非常勤)	嘱託(常勤)	計	休職(欠勤)	短時間勤務	(常勤換算)	(常勤換算) 計	前期末比
介護支援専門員	3	0	0	3				3.0	-1.0
介護福祉士	6	0	0	6				6.0	-1.0
社会福祉士	1	0	0	1				1.0	±0.0
社会福祉主事任用資格	2	0	0	2				2.0	±0.0
施設長資格認定	1	0	0	1				1.0	±0.0
看護師	3	0	0	3				3.0	-1.4
准看護師	1	2	0	3		-0.4	0.8	2.4	+0.8
管理栄養士	1	0	0	1				1.0	±0.0

③入退職状況（令和6年度 年間）

（人）

	入職者				退職者				増減
	常勤	非常勤 嘱託(非常勤)	嘱託(常勤)	計	常勤	非常勤 嘱託(非常勤)	嘱託(常勤)	計	
介護部門	8	0	0	8	7	0	0	7	+1
看護部門	2	1	0	3	4	1	0	5	-2
相談支援部門	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
事務部門	1	1	0	2	2	1	0	3	-1
特養 計	11	2	0	13	13	2	0	15	-2
デイサービス部門	0	1	0	1	0	0	0	0	+1
職員 計	11	3	0	14	13	2	0	15	-1